

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様が講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。一般の方もご参加いただけます。

2019年

1月15日(火) 18:00～

五島美術館副館長
名児耶 明氏

『仮名の成立の背景と仮名の美について』

仮名の成立は、一般的に平安時代の前期、900年頃とされています。中国から渡来した漢字の行書や草書から、さらに草仮名となつてやがて900年頃に仮名になるという考え方です。しかし、近年800年代の墨書の遺品他が発掘されて、草仮名の時代が曖昧になっています。

そこで、最近では仮名の成立を、今までとは見方を変えて考えることにしています。つまり、草仮名の時代とされる頃がどのような状態であったかを考えなおし、900年頃に仮名文字が誕生したのではなく、仮名が整理されたのではないかとことです。

しかも仮名の字形や線質、その書き方、すなわち散らし書きや、連綿といった独自の構成についても、私なりの解釈をしてみたいと思います。これにより、仮名の美を再発見していただければ幸いです。



名児耶 明 (なごや あきら)

【略歴】

1949年 北海道静内郡静内町字高見番外地(現日高郡新ひだか町)約10年、満9歳まで生活、小学校四年生のとき東京へ引っ越す。

昭和42年(1967)3月 東京都立松原高等学校卒業。

昭和47年(1972)3月 東京教育大学教育学部芸術学科書専攻卒業。

昭和47年(1972)5月 財団法人大東急記念文庫勤務(但し五島美術館の学芸を手伝う)。

昭和49年(1974)1月 財団法人五島美術館勤務に変更、現在に至る。

平成10年(1998)4月より学芸部長。

平成25年(2014)6月 公益財団法人五島美術館常務理事・副館長・学芸部長。

平成29年(2017) 現在は公益財団法人五島美術館副館長。

【主な展覧会】

- 平安古筆の名品(2016)五島美術館
- 筆の美展(2008)五島美術館・筆の里工房
- 一休(2015)五島美術館
- 牧谿(1996)五島美術館
- 光悦(2013)五島美術館
- 定家様(1987)五島美術館

【主な著作】

- 「書の見方」日本の美と心を読む(角川選書419) 角川学芸出版 2008
- 「日本書道史年表」(総説) 二玄社 1999
- 「書に心よせる」美術館へ行こうシリーズ 新潮社 1998
- 日本書道辞典(一部項目担当) 二玄社 1987
- 論文:仮名に見る日本の美意識上下 五島美術館研究紀要3号4号 2014・2015
- 論文:「伝西行筆の筆跡一群と「二十卷本歌合」について」
書学書道史研究14号 書学書道史学会 2004
- 論文:「伝藤原行成筆「古今集切」と「不明歌集断簡」について」 2000
國學院雑誌(第101巻第11号)國學院大學
- 論文:「定家の若書き書風について」書論第31号 1999 書論編集室

申込方法

事務局まで直接お問合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp http://ja2pa.or.jp



一般社団法人 日本アート評価保存協会